



- 1 生徒会役員の10人。アサギマダラ(蝶)が飛来すると飛び交う「かわいい」の声。愛着があふれます。
- 2~3 飛来したアサギマダラ。一度捕獲してマーキングを施したあと、再び大空へと放ちます。
- 4~7 アサギマダラが好むフジバカマ(藤袴)。春先に芽切り・差し芽を行い、毎日の水やりを頑張ってきました。
- 8~9 写真8: 卒業生へ「フジバカマの匂い袋」の贈り物
写真9: 志手原小学校へフジバカマの株分け

アサギマダラが運ぶ大切なもの



旧羽束中学校・小野分校が統合され、昭和50年に誕生した上野台中学校。全校生徒は113人と市内8中学校のうち最も少ないが、校区は一番広い。生徒は志手原・高平・小野・母子の各小学校区から通う。「上野台中学校を日本一の学校に！」という卒業生のメッセージを現実のものにしよう——6年前に始まった虹プロジェクトの取り組みを受け継ぐ生徒会の皆さんに自慢を聞いた。

フジバカマは「学校の顔」

「旅する蝶を上野台に呼びませんか？」その一言から始まった虹プロジェクト。日本列島を縦断し、2千キロメートルもの旅をする渡り蝶・アサギマダラの羽休めの中継点の一つにしようと、アサギマダラが好むフジバカマ(藤袴)を平成27年度から校庭で育てています。代々大切に育ててきたフジバカマはまさに「上野台中学校の顔」と言えるほど大切な存在。今年には私たちの肩と同じくらいの高さまで成長しました。これまでで一番大きく育ったフジバカマへ今年飛来したアサギマダラは30頭を超えています！

大切にしたい「つながり」

大切に育ててきたフジバカマ

は、校内で株を増やすだけでなく、上野台校区(志手原・小野・高平・母子小)やけやき台・ゆりのき台中などへ株を分けるなど、どんどん取り組みが広がっています。また、今年の1月には、虹プロジェクトを始めた先輩たちが成人を迎えました。コロナ禍の中でも、ふるさと三田の香りを感じてほしい——そんな想いから地域のみなさんの協力のもと贈ったフジバカマの匂い袋。後日先輩たちから「私たちの代に始まった虹プロジェクトが今も続いていて感慨深い」「母校とのつながりを感じられて嬉しい」「皆さんが素敵な未来へ羽ばたけますように」とたくさんメッセージが届きました。虹プロジェクトがあったから、こうして地域や卒業生ともつながることができました。まさに虹のように地域と学校をつなぐ架け橋となっています。

虹プロジェクトが目指すもの

「上野台中学校とえば虹プロジェクト・アサギマダラ・フジバカマ」と言ってもらえるようこれからも取り組みを続けていきたいです。アサギマダラが運んでくれた「つながり」を、私たちが大きく羽ばたかせられるように。

▽子育てNews

▽保健だより・休日診療▽相談・生活

▽連載・みんなのひろば▽フォトニュース